

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2013-13942(P2013-13942A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2011-146184(P2011-146184)

【国際特許分類】

**B 2 3 B 27/04 (2006.01)**

**B 2 3 B 27/22 (2006.01)**

【F I】

B 2 3 B 27/04

B 2 3 B 27/22

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月12日(2014.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記クラッチドラム 1 0 0 の第 1 スナップリング溝 1 0 5 や第 2 スナップリング溝 1 0 6 に嵌入した切粉 1 0 9 は、第 1 スナップリング溝 1 0 5 及び第 2 スナップリング溝 1 0 6 の溝幅 W と一致乃至ほぼ一致した幅寸法を有することから、比較的強固に第 1 スナップリング溝 1 0 5 や第 2 スナップリング溝 1 0 6 に嵌り込まれた状態となり、その第 1 スナップリング溝 1 0 5 や第 2 スナップリング溝 1 0 6 に嵌り込んだ切粉 1 0 9 の目視によるチェック及び除去作業は極めて厄介でかつ作業者に多くの負担を掛ける。また、第 1 スナップリング溝 1 0 5 や第 2 スナップリング溝 1 0 6 に嵌り込んだ切粉 1 0 9 の除去に使用する際に工具等によって第 1 スナップリング溝 1 0 5 や第 2 スナップリング溝 1 0 6 及び内歯スプライン 1 0 3 等に不用意に損傷を与えることが懸念される。